

新型コロナウイルス禍における当施設の対応について

当施設は、新型コロナウイルス感染症において重症化リスクを有する高齢者が多数入所しています。高齢者を新型コロナウイルス感染から守るため、施設内に「持ち込まない、持ち出さない、広げない」ことを基本に対応しています。

総合的対策

当施設の入所者の方々は、外出の機会は少なく、施設外の人との接触はほとんどありません。その為、入所者の方々が施設外から新型コロナウイルスを持ち込む可能性はほとんどないと考えています。一方、当施設の職員は、施設外の生活が中心であることから、職員自身が無自覚のうちにウイルスを持ち込むことが懸念されます。従って、当施設では職員・関係者に以下の点を注意しています。

I：施設内に持ち込ませない工夫

II：万が一持ち込んだ場合でも早期に持ち込みに気づく工夫

< I：施設内に持ち込ませない工夫 >

現状では無症状の場合には、原則として新型コロナウイルスに感染しているか検査を受けることはできません。また感染早期やごく軽症の方は目立った症状もないことから、施設内にウイルスを持ち込んでしまう可能性があります。持ち込みのリスクを少しでも小さくする工夫として以下の対応を取っています。

- ・出勤する職員の健康チェック、手指衛生の徹底
- ・施設面会者の制限
- ・施設関係業者の立入の制限
- ・職員全員へのPCR検査の実施（月3回）
- ・新規入所者およびショートステイ利用者への抗原検査の実施（都度）
- ・全入所者へのマスク着用の推進

< II：万が一持ち込んだ場合でも早期に持ち込みに気づく工夫 >

入所者の方々は、新型コロナウイルス感染だけでなく発熱する機会も多いものです。このため施設では普段から健康状態を確認しています。通常より発熱している方が多いか？特定のグループ内での発熱者が多くないか？等々いつもと違う兆候に気づき、早期にウイルスの持ち込みを感知出来るようにしています。

また、発熱に至った場合は、その都度抗原検査を実施しています。

具体的な対策

他にも施設内にウイルスを「持ち込まない、持ち出さない、広げない」為に次のような施策を行っています。

- 1) 施設内でも3密（密閉・密集・密接）を避ける
- 2) 職員の手指衛生・感染防御具
 - ・マスク
 - ・アイガード/フェースシールド
 - ・手袋等 PPE（個人防護具）の徹底
- 3) テレビ電話等による面会
- 4) 共用トイレ内消毒薬の配備
- 5) ボランティア等の施設への立入の制限
- 6) 入所及び通所職員の固定化
- 7) 感染状況に応じたショートステイ等の新規入所者の制限
- 8) 恒例行事の縮小・中止
- 9) 施設内の環境整備（消毒）
 - ・ドアノブ、手すり、車いす等複数人が触れる箇所を重点的に
 - ・リハビリ機材の使用前、使用後の消毒（都度）
 - ・DC送迎車の消毒と乗車前の体温測定（都度）
- 10) ホール及び居室等の定期的な換気
- 11) 新型コロナウイルス感染対策会議（週1回）

今後も刷新される科学的知見をもとに感染防止に努めて参ります。

令和2年7月20日

令和3年5月10日一部改訂

医療法人静和会 介護老人保健施設
あさいケアセンター

施設長（施設医師）： 小川友裕